

文字摺通信

第 84 号
2025年 3月15日
発行:文字摺歴史文化社

保原町文化財保存会新春歴史文化講演会

石那坂の戦いはどこか IV

2月9日(日)保原町中央交流館で行われた講演会に参加してきました。昨年もお知らせしましたが、保原町文化財保存会は一昨年夏以来、「石那坂の戦いはどこか」のテーマで夏・新春の講演会を開催してきました。今回で四回目。今回もまた参加者数を記録更新し、125名の出席者がありました。同じテーマで異なる結論を持つ講師による連続講演会で毎回100名を超える参加者があるのは驚異的なことです。

今回の講師は、あづま脳神経外科病院などの社会医療法人秀公会事務局長菅井敏美さん(京都大学文学部修士課程修了、考古学。元福島県職員)で、石那坂飯坂説を唱えている方です。この連続講演会のユニークな所は、講師がいわゆる研究者ではなく、在野の方であることです。

菅井氏は、5つの説

- ① 伊達市富沢説
- ② 伊達市高子岡説
- ③ 福島市平石説
- ④ 福島市鎌田説
- ⑤ 福島市飯坂説

を紹介しながら、『吾妻鏡』の文言の問題や地形や地名などから各説の問題点を指摘して否定し、最後の飯坂説を強調されました。自身が撮影した写真をパワーポイントを使って説明をし、90分に及び、熱く語りました。

なお、右に表紙を掲げましたが、『保原町文化財保存会 郷土の香り 第53集別冊』は今回の講演者菅井氏の65ページに及び特別寄稿で、「伊達氏発祥の契機となった戦勝地はどこか」というテーマで書き下ろしたもので、石那坂の戦いの研究史がわかります。A4版オールカラーの冊子です。

今年の夏の講演会はどんな説を聴くことができるか、楽しみです。



1. これまでの講演会の振り返り

- 第1回** 令和5年7月29日 保原中央交流館
「石那坂と富成諏訪神社と阿津賀志山防塁」
講師：熊谷郁太郎氏(熊谷泌尿器科クリニック 院長)
- 第2回** 令和6年2月10日 保原中央交流館
「石那坂は飯坂である」
講師：石原洋三郎氏(福島市議会議員)
- 第3回** 令和6年7月20日 保原中央交流館
「石那坂の戦いはどこか・吾妻鏡から読み解く」
講師：佐藤忠夫氏(保原町文化財保存会 副会長)

保原町文化財保存会
郷土の香り 第53集別冊

伊達氏発祥の契機となった戦勝地はどこか



保原町文化財保存会
菅井敏美